

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：教育費 項：高等学校費 目：学校建設費
 令和4年度当初予算 支出科目 款：教育費 項：特別支援教育費 目：学校建設費

事業名 校地整備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 教育財務課 施設係 電話番号：058-272-1111(内3561)

E-mail：c17773@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 **488,350 千円** (前年度予算額：**460,671 千円**)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	460,671	0	0	0	0	0	0	335,000	125,671
要求額	488,350	0	0	0	0	0	0	296,800	191,550
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

・県立学校のグラウンドは、体育活動や学校行事、クラブ活動に使用するもので、健全な児童生徒の育成に不可欠な施設である。

近年のグラウンドは、経年による水はけ不良や表土流出、防球ネット等工作物の老朽化が著しくみられ、改良等の工事が必要な学校が増えている。

また、学校のグラウンド照明は水銀灯照明が多く使われており、水銀灯の製造禁止に対応するためLED照明に改修する必要がある。

(2) 事業内容

・グラウンド等改修工事

実施設計：高等学校 7校 特別支援学校 2校

改修工事：高等学校 6校

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・ 県10/10 (県立学校の校地整備のため)

(4) 類似事業の有無

- ・ 無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	59,500	実施設計(46,000)、工事監理(13,500)
工事請負費	425,000	改修工事
事務費	850	
負担金	3,000	
合計	488,350	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第3次岐阜県教育ビジョン

基本方針5 学びを支援する安全・安心な教育環境づくり

目標25 学校施設の整備の充実

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 県立学校のグラウンド整備や改修を行うことで、児童生徒の安全を確保し、安心して学べる学習環境を維持する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	R2年度	R3年度	R4年度	終期目標	達成率
	(R)	実績	目標	目標	(R)	
①グラウンド等改修工事の実施設計	—	1	11	10	—	—
②グラウンド等改修工事	—	5	6	5	—	—

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・取組内容と成果を記載してください。 岐阜農林高等学校の防球ネット及び支柱が更新された。 各務原高等学校のグラウンドの不陸整備や地盤改良を行った。 大垣商業高等学校のグラウンド照明をLED照明に改修した。 武義高等学校のグラウンド整備（1期）工事を行い防球ネット及び支柱が更新された。 岐阜本巣支援学校の駐車場整備工事を行い、駐車場表層が改修された。 中濃特別支援学校のグラウンドの部分改良を設計した。
令和3年度	<p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p> <hr/> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <hr/> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	経年劣化及び気象の影響によりグラウンド施設の老朽化や校地の荒廃が進み、年々、整備を必要とする箇所が増加している。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	老朽化した防球ネット施設等の改修や荒廃したグラウンド地盤の整備により、危険な箇所が解消され児童生徒の安全が確保されている。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	グラウンド等の改修は、施設の劣化やグラウンド用地の荒廃状況から優先順位等を検討し、整備を計画している。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 防球ネット等の施設やグラウンド用地は、使用が開始されて以降、大規模な改修が行われた学校は少なく、荒廃が原因により整備を必要とする学校が増加している。また、水銀灯の製造中止に伴い、照明の改修が必要になっている。
--

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 改修の緊急性や必要性等を総合的に判断し、整備個所の優先順位を付けたうえで、効率的な整備を図る。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	—
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	—

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	
補助事業者 (団体)	(理由)
補助事業の概要	(目的) (内容)
補助率・補助単価等	定額・定率・その他 (例: 人件費相当額) (内容) (理由)
補助効果	
終期の設定	終期〇〇年度 (理由)

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位: 千円)	H30年度	R元年度	R2年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none">取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none">事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none">事業が直面する課題や改善が必要な事項
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none">継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
